３種リーグの現状と課題

（1）　２０１１～２０１２シーズンの現状

・１部リーグ　　１０チーム

・２部リーグＡ　　８チーム

・２部リーグＢ　　７チーム

※Ｖ小山は関東２部リーグに参加

日程や会場の確保の問題はあるが、少しずつ理想のリーグ戦に近づきつつある。しかし、大きな課題は中体連の参加チーム数が少ないということである。現在では６チームのみの参加にとどまっていた。

来シーズンに向けて県内７ブロックの予選を勝ち抜いた中体連の８チームによる２部リーグへの参入戦を実施し、３部リーグ制の体制作りを行った。

（2）　２０１２～２０１３シーズンに向けて

・１部リーグ　　１０チーム

・２部リーグＡ　１０チーム

・２部リーグＢ　　７チーム

・３部リーグ　　県内７ブロックで実施

今回予選を実施した７ブロックをベースに３部リーグ（地区リーグ）を創設し、３部制を確立させたい。３部には現段階ではすべて中体連のチームが所属するため、審判資格やリーグ戦の開催時期については検討する余地がある。

（3）Ｕ－１３リーグについて

スタッフ・審判の確保や選手の人数の問題で参加チームが少ないのが現状である。日程についても長期間に渡って行えていないが、来年度からは改善していく方向で準備を進めている。

Ｕ－１５リーグの３部と同様に、参加資格について検討も必要である。